

2018年度 事業報告書

(2018年4月1日から2019年3月31日まで)

特定非営利活動法人ファクトチェック・イニシアティブ

第1 事業の成果

当法人は、本年度（第2期）においても、誤った情報に惑わされない社会を築くために、日本国内のファクトチェックの普及啓発のための各種事業を実施しました。

主な成果は以下のとおりです。

- (1) 本年度は、**設立記念シンポジウム・セミナー**を計6回開催しました。
- (2) **沖縄県知事選（2018年9月）のファクトチェック・プロジェクト**を実施し、琉球新報、BuzzFeed Japanなど6つのメディアとの協働により、13本のファクトチェック記事をFIJサイトで掲載しました。プロジェクト実現のためのクラウドファンディングを実施し、特設サイト (<http://fij.info/project/okinawa2018>) も開設しました。
- (3) 疑義言説を共有するプラットフォームを構築するため、「**ClaimMonitor実証実験プロジェクト**」に前年度に続いて取り組みました。Wikiシステムを利用したClaimMonitor実験版プラットフォームを2018年8月まで運用しました。
- (4) スマートニュース株式会社、東北大学乾研究室との協働で、疑義言説を自動的に収集してファクトチェッカーを支援するシステムを開発するため、「**テクノロジー支援プロジェクト**」に前年度に続いて参画しました。同プロジェクトで開発された**Fact-Checking Console (FCC) システム**を、2019年2月からメディア関係者に試験的に供用を開始しました。
- (5) **第5回世界ファクトチェック会議**（2018年6月・ローマ）に理事2名が参加したほか、**東アジアの偽情報対策に関するワークショップ国際会議**（2018年6月・台北）に理事とスタッフ計2名、「**APAC Trusted Media Summit 2018**」（2018年7月・シンガポール）にスタッフ1名が参加し、8月のFIJセミナーで各国の取り組みを詳しく報告しました。
- (6) 2018年12月から、ファクトチェック実務関係者で集まり、ファクトチェック・ガイドライン（特にレーティング基準）等のルール作りの協議や事例検討などを行う場として「**メディアパートナー会議**」（非公開）を設け、計4回開催しました。理事を除き、10社（新聞、ネットメディアなど）の記者等が個人の立場で協議に参加しました。
- (7) 会員第1期（任意団体時の2017年11月～2018年12月）は127名の賛助会員が入会し、年内に4回のFIJセミナーを開催したほか、会員専用ページを開設して過去のセミナー動画や資料提供などの会員特典を提供しました。2019年1月から会員第2期となりましたが、第1期会員の多くが更新継続し、正会員・賛助会員計123名（2019年3月31日現在）に会員特典を提供しました。
- (8) 任意団体時に開設した公式サイト (<http://fij.info/>) を引き続き運営し、お知らせ・コラム等を随時掲載したほか、各種プロジェクトの内容・進捗を紹介するページを新設しました。Facebook公式ページのほか、ファクトチェック関連の情報交換をする「**ファクトチェック・コミュニティ**」（Facebook公開グループ）を新たにスタートし、ツイッター公式アカウントでも随時情報発信を行いました。

第2 事業の実施に関する事項

1 特定非営利活動に係る事業

(1) ファクトチェックの質的向上のためのガイドライン等の整備・啓発事業

① 設立記念セミナー「『ポスト真実』時代のファクトチェック実践を考える」

- 日時：2018年4月21日（土）14:00開場、14:30～18:00
- 会場：大阪イノベーションハブ（グランフロント大阪 ナレッジキャピタルタワーC 7階）
- 共催：デジタルメディア関西の会、大阪イノベーションハブ（OIH）
- プログラム
 - 開会あいさつ（瀬川至朗理事長・早稲田大学政治経済学術院教授）
 - 第1部 基調講演「米国におけるファクトチェッカーの実践」
 - 講演：アーロン・シャロックマン氏（PolitiFact事務局長）＜逐次通訳＞
 - 第2部 日本におけるファクトチェックの実践
 - 報告者：立岩陽一郎理事（ニュースのタネ編集長）、楊井人文理事（日本報道検証機構代表）
 - 第3部 パネル・ディスカッション & 質問タイム
 - パネリスト：アーロン・シャロックマン氏、瀬川至朗理事長、立岩陽一郎理事＜逐次通訳＞
 - モデレーター：金井啓子理事（近畿大学教授）
- 来場者：57名（参加無料）

② 設立記念シンポジウム「『ポスト真実』時代におけるファクトチェックの可能性」

- 日時：2018年4月22日（日）12:30開場、13:00～18:00
- 会場：早稲田大学早稲田キャンパス 国際会議場 井深大記念ホール
- 共催：早稲田大学ジャーナリズム大学院
- プログラム
 - 開会あいさつ（瀬川至朗理事長）
 - 第1部 基調講演「トランプ政権とメディア～ファクトチェッカーが対峙する『フェイクニュース問題』」
 - 講演者：アーロン・シャロックマン氏（PolitiFact事務局長）＜同時通訳＞
 - モデレーター：立岩陽一郎理事
 - 第2部 日本のファクトチェック最前線
 - (1)「ネットメディアの実践」古田大輔氏（BuzzFeedJapan編集長）
 - (2)「新聞社の実践」：林尚行氏（朝日新聞大阪社会部次長）
 - (3)「教育現場の実践」：坂本旬氏（法政大学教授）
 - (4)「テクノロジー支援と市民参加の可能性」：乾健太郎理事（東北大学大学院教授）、楊井人文理事
 - モデレーター：下村健一（白鷗大学客員教授）
 - 第3部 パネルディスカッション
 - パネリスト：アーロン・シャロックマン氏、林尚行氏、下村健一氏、楊井人文理事 ＜同時通訳＞
 - モデレーター：小島慶子（エッセイスト）
- 来場者：215名（参加無料）

③FIJセミナー「医療健康情報のファクトチェックはいかにして可能か」

- 日時：2018年7月21日 15:00～18:30
- 会場：スマートニュース・イベントスペース（東京都渋谷区神宮前）
- 参加料：会員無料、非会員3000円
- 来場者：計47名（一般34名、登壇6名（瀬川理事長、山崎理事を含む）、役員4名、スタッフ3名）

④FIJセミナー「世界のフェイクニュース対策最前線と日本の行方」

- 日時：2018年8月9日 19:00～21:00
- 会場：スマートニュース・イベントスペース（東京都渋谷区神宮前）
- 参加料：会員無料、非会員3000円
- 来場者：計41名（一般29名、登壇4名（立岩理事、楊井理事含む）、役員4名、スタッフ4名）

⑤FIJセミナー「沖縄県知事選ファクトチェックの成果と今後の展望」

- 日時：2018年10月27日 15:00～17:30
- 会場：スマートニュース・イベントスペース（東京都渋谷区神宮前）
- 参加料：会員無料、非会員3000円
- 来場者：計53名（一般42名、登壇4名（立岩理事、楊井理事含む）、役員4名、スタッフ3名）

⑥FIJセミナー「フェイクニュース現象の本質は何か」

- 日時：2019年3月10日 15:00～17:30
- 場所：早稲田大学国際会議場 第3会議室
- 参加料：会員無料、非会員3000円
- 来場者：計53名（一般52名、登壇3名（楊井理事含む）、役員8名、スタッフ10名（学生6名含む））

(2) ファクトチェックに関する国内外の団体及び市民との連携・協働事業

①ClaimMonitor実証実験プロジェクト

- 経緯
 - 2018年2月4日：第1回理事会でプロジェクト概要を承認
 - 2～3月（第1期）：西新宿オフィス、Wiki版CM運用
 - 4月～（第2期）
 - 5月～（第3期）
 - 6月9日：第2回理事会で利用料制を提案・承認
 - 6～8月（第4期）：利用料制
 - 9～11月（第5期）：利用料制廃止、Wiki版CM運用
 - 11月：ClaimMonitor 2 の開発検討開始
- 成果
 - 4月22日：設立記念シンポジウムで実証実験の成果を発表した。

②FactCheck沖縄県知事選2018プロジェクト

- 経緯
 - 2018年6月9日：第2回理事会で沖縄県知事選のプロジェクトを承認

- 8月8日：翁長雄志知事死去
- 8月27日：沖縄県知事選ファクトチェックプロジェクトを予告発表
- 8月31日：Good Morning でクラウドファンディング開始（60日間）
- 9月6日：日本記者クラブで記者会見、情報提供募集・記事募集を開始
- 9月13日：告示日、特設サイトを公開
- 9月30日：投開票日
- 10月27日：報告会セミナー開催
- 成果
 - 6メディアが参加した（BuzzFeed Japan、琉球新報、Japan In-depth、ニュースのタネ、GoHoo、Wasegg）。
 - ファクトチェック記事化は13本だった（検証対象言説は21個）。
 - クラウドファンディングの支援者は51人で、支援金は計57万5000円となった（現金支援者1名を含む）。

③国際会議への参加

- 世界ファクトチェック会議
 - 開催日時：2018年6月20日～22日
 - 場所：イタリア・ローマ
 - 立岩理事と楊井理事が参加し、海外の関係者と交流した。
- 偽情報対策に関する国際ワークショップ
 - 開催日時：2018年6月26日～28日
 - 場所：台湾・台北
 - 楊井理事と段エディ事務局長補佐が参加し、関係者と交流した。
- APAC Trusted Media Summit 2018
 - 開催日時：7月23日～27日
 - 場所：シンガポール
 - 段エディ事務局長補佐が参加し、関係者と交流した。

④メディアパートナー会議

- 第1回
 - 日時：2018年12月1日15:00～17:00
 - 会場：スマートニュース会議室（13名参加）
 - 主な議題：レーティングシステム等のルール作り協議で合意
- 第2回
 - 日時：2019年1月19日15:00～17:00
 - 会場：スマートニュース会議室（12名参加）
 - 主な議題：レーティングシステムの検討
- 第3回（2019年2月9日）
 - 日時：2019年2月9日13:00～15:00
 - 会場：スマートニュース会議室（8名参加）
 - 主な議題：ファクトチェックの事例を用いたレーティングの検討
- 第4回（2019年3月21日）
 - 日時：2019年3月21日14:30～16:30
 - 会場：スマートニュース会議室（10名参加）
 - 主な議題：レーティング基準の検討

(3) ファクトチェックに貢献する団体・個人に対する評価・支援事業

①テクノロジー支援プロジェクト

- 経緯
 - 2017年秋～：東北大大学院乾研究室・スマートニュース・日本報道検証機構の協力を得て、自然言語処理技術を活用した端緒情報／疑義言説の効率的収集方法の開発を検討開始
 - 2018年～：FactChecking Console（通称FCC）の開発開始、月2回程度の部会（スマートニュース会議室）に参加
 - 同年6月11日：東北大で合同会議（FCC開発方針を確認）
- 成果
 - 2018年9月：沖縄県知事選プロジェクトでFCCの運用を開始
 - 同年12月：香港大学で査読付き論文発表（東北大院・田上翼氏）
 - 2019年2月：メディアパートナー会議参加者に供用開始

※ 以上、「特定非営利活動に係る事業」の事業費は総額466万円となりました。

2 その他の事業

該当なし

第3 会議の開催に関する事項

1 社員総会

(1) 2018年度通常総会

- 日時：2018年6月9日 10:00～10:45
- 場所：早稲田大学教室
- 議案：前年度事業報告・決算報告、新年度事業計画・予算・年会費変更など

(2) 2018年度第1回臨時総会

- 日時：2018年6月9日 18:30～19:00
- 場所：スマートニュース（株）会議室
- 議案：年会費変更・総会及び理事会の議決事項の変更

2 理事会

(1) 第1期第2回理事会（2018年6月9日）

- 主な議題：2018年度の活動計画など

(2) 第1期第3回理事会（2018年12月1日）

- 主な議題：FIJのミッション・ビジョンや活動計画など

(3) 第1期第4回理事会（2019年3月10日）

- 主な議題：2019年度事業計画・予算など

以上